② ローマ帝国の繁栄

教 ▶ p.52 ～ 54

ローマの平和

(1) [❶　　]（ローマの平和）…1 ～ 2 世紀の平穏な約 200 年間

(2) [❷　　]**時代**（96 ～ 180）

①ネルウァ帝→②**トラヤヌス帝**（領土最大）→③**ハドリアヌス帝**→④アントニヌス＝ピウス帝→

⑤[❸　　]帝（哲人皇帝）この皇帝の使者と称する者が中国（後漢）へ（166）（→ p.38）

(3) [❹　　]…属州民にも開放→**カラカラ帝**時代，帝国内の全自由民に付与（212）

ローマの文明

(1) 実践・実用性に優れた文明…法律・土木建築（アーチ構造など）に独創性発揮

(2) [❺　　]…**市民法から万民法へ**性格変化

ユスティニアヌス帝（6 世紀）が『[❻　　]』を編纂→ヨーロッパ近代法へも影響

(3) 思想　文人政治家 [❼　　]『国家論』

ストア派哲学…セネカ，エピクテトス，

マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス帝『自省録』

(4) **ラテン文学**　[❽　　]『アエネイス』…建国叙事詩

叙情詩人ホラティウス　詩人オウィディウス

(5) 歴史　[❾　　]『ローマ史』[❿　　]『ゲルマニア』『年代記』

(6) 百科全書　プリニウス『博物誌』

(7) ギリシア語文献　[⓫　　]『対比列伝』　ストラボン『地理誌』

[⓬　　]『天文学大全』…天動説

(8) 土木建築技術　公衆浴場，**円形闘技場（コロッセウム）**，パンテオン（万神殿），劇場，

上水道（**ガール水道橋**など）など

都市と民衆

(1) 首都ローマ…紀元前後には 100 万都市

(2)「[⓭　　]」…富裕な貴族・市民による民衆への食糧・娯楽の提供

地中海世界の諸宗教とキリスト教

(1) ミトラ教，イシス教などの信仰広まる

(2) [⓮　　]（前 4 ごろ～後 30 ごろ）…戒律主義のユダヤ教を批判，**神の愛と隣人愛**を説く

①ユダヤ教祭司・パリサイ派と対立→属州総督により十字架刑

②イエス復活の信仰→**イエスが救世主である**とする [⓯　　]誕生

→使徒**ペテロ**・伝道者**パウロ**らが広める

(3)『[⓰　　]』の原型整う　帝国各地に [⓱　　]（信徒の団体）設立

帝国の混乱

(1)「**3 世紀の危機**」

①[⓲　　]時代（235 ～ 284）…軍人出身の皇帝が次々と擁立される

②ササン朝ペルシアやゲルマン人の度重なる侵入

③ 古代末期の社会と地中海世界の解体

教 ▶ p.55 ～ 58

ローマ帝国の変貌

(1) [❶　　]（ドミナトゥス）への転換　ローマの政治体制…共和政→元首政→専制君主政

①[❷　　]（位 284 ～ 305）の改革…四分統治制（2 人の正帝，2 人の副帝）　皇帝崇拝を強化

②[❸　　]（位 324 ～ 337）…行政機構整備，軍事改革

ソリドゥス金貨の創設…金貨を基本通貨とする地中海の国際交易の安定を企図

ビザンティウムに遷都し [❹　　]（現イスタンブル）と改称（330）

(2) [❺　　]の進展　ローマの土地制度…ラティフンディア→コロナートゥス

…[❻　　]（小作人）に農地を貸して耕作させる制度　小作人は自由身分だが移動禁止

(3) [❼　　]死後，**帝国は東西に分割**（395）→中心は東地中海世界へ

キリスト教の布教と聖なる世界

(1) **禁欲思想**の広まり（3 世紀ごろ～）…苦行者を慕い，修道院を開設

(2) 迫害と懐柔

①**ネロ帝の迫害**（1 世紀）や**ディオクレティアヌス帝の迫害**（303 ～ 304）→しかしキリスト教は拡大

②**コンスタンティヌス帝**，[❽　　]で**キリスト教公認**（313）→皇帝との結びつき深め勢力拡大

(3) 教義の統一，国教化

①[❾　　]公会議（325）…コンスタンティヌス帝が召集

正統…神としてのイエスを認める [❿　　]の説

異端…人間としてのイエスを唱える [⓫　　]の説

②**「背教者」ユリアヌス帝**の異教復興による混乱

③**テオドシウス帝**が異教をすべて厳禁（392）…**キリスト教の国教化**

④[⓬　　]公会議（431）…神たるイエスと人たるイエスを分離する [⓭　　]は異端→中国へ（景教）

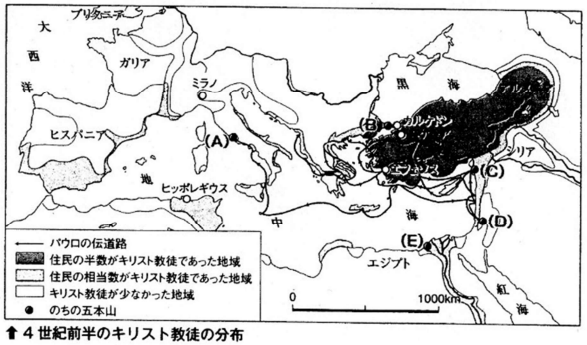
⑤カルケドン公会議（451）…神たるイエスだけを認める**単性論**も異端

→単性論派はエジプト，シリアなどでコプト教会，アルメニア教会など設立

神とイエスと聖霊は三者不可分とする [⓮　　]の確立

(4) [⓯　　]の著作　エウセビオス『教会史』…皇帝位は神の恩寵により付与→王権神授説の根拠

[⓰　　]『告白』『神の国』→西ヨーロッパ中世のスコラ学に影響



⬆ 4 世紀前半のキリスト教徒の分布

① 都市国家から世界帝国へ

教 ▶ p.48～51

西地中海の諸民族

(1) フェニキア人…交易の拠点：[❶　　]　ギリシア人…イタリア半島南部などにもポリス形成

(2) イタリア半島　①[❷　　]がトスカナ地方に都市国家形成→前７世紀～前６世紀に最盛期

②インド＝ヨーロッパ語系の**ラテン人**が半島中西部に定住

[❸　　]…エトルリア人の王を追放して独立（前６世紀末）

ローマ共和政

(1) 貴族主導の[❹　　]…[❺　　]（**パトリキ**）が[❻　　]（**プレブス**）を支配

①貴族から２名の[❼　　]（**執政官・コンスル**）を選出　[❽　　]…実質上の最高決定機関

②平民は[❾　　]としてローマ拡大に貢献→身分・権利での不平等の是正を求める闘争展開

(2) 平民の台頭

①[❿　　]の設置（前５世紀初）…平民の保護　②[⓫　　]（前５世紀半ば）…ローマ最古の成文法

③**リキニウス＝セクスティウス法**（前367）…コンスルの一人を平民へ開放

④[⓬　　]（前287）…平民会の議決が国法になる→富裕な平民は**新貴族**（**ノビレス**）を形成

地中海世界の統一

(1) ローマがイタリア半島の覇者に（前３世紀前半）…支配下の都市を巧妙に**分割統治**

(2) [⓭　　]戦争（前３～前２世紀）…**カルタゴ**と３回にわたり争い勝利→**地中海の覇者**に

第２回…カルタゴ将軍**ハンニバル** vs ローマ将軍**スキピオ**

共和政国家の限界

(1) イタリア半島以外の征服地…[⓮　　]として支配，富は貴族や騎士が獲得

(2) イタリア半島・シチリア島…[⓯　　]（戦争捕虜を**奴隷として使役する大所領**）が広まる

①大土地所有者…ブドウ・オリーブ栽培で収益↔中小農民…属州からの安価な穀物の流入で**無産市民化**

②奴隷反乱の頻発…シチリアの奴隷反乱，**剣闘士スパルタクス**指導の反乱（前73～前71）など

(3)「**内乱の１世紀**」（前２世紀後半～前１世紀後半）

①[⓰　　]の改革…公有地の占有を制限し自作農再建を企図→元老院貴族の反対で失敗

②**スラ**ら[⓱　　]（元老院が支持）と**マリウス**ら[⓲　　]（平民会が支持）の対立抗争

(4) **第１回**[⓳　　]（前60～前53）

①[⓴　　]，平民派[㉑　　]，大富豪[㉒　　]の密約で元老院に対抗

②カエサルがポンペイウスを倒し独裁（前46～前44）→共和政信奉派（ブルートゥスら）により暗殺

皇帝権力の成立

(1) **第２回三頭政治**

①カエサル養子[㉓　　]，カエサル部下[㉔　　]，[㉕　　]で支配地域を分担

②[㉖　　]（前31）…オクタウィアヌスがアントニウス，**クレオパトラ**（プトレマイオス朝エジプト女王）をやぶる→プトレマイオス朝滅亡（前30），**地中海世界の政治的統一達成**

(2) **帝政**（**元首政**）開始（前27）…オクタウィアヌスが元老院より[㉗　　]（尊厳なる者）の称号を受ける

→共和政を尊重しつつ**第一人者**（**プリンケプス**）として統治する事実上の皇帝